

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科に、総胆管結石で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

総胆管結石再発のリスク因子に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科 部長 那賀川峻

3. 研究の目的

総胆管結石による胆管炎は致命的となりうる疾患ですが、内視鏡により治療が可能です。しかしながら一定数再発する方がいます。再発のハイリスク群をあきらかにすることにより、早期に治療をおこなえるようにすることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

総胆管結石の患者さんで、西暦 2014 年 2 月 1 日から西暦 2020 年 2 月 28 日までの期間中に、入院での内視鏡治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、既往歴、血液検査所見、CT 画像所見、内視鏡所見に関する情報です。

(3) 方法

総胆管結石完全除去後の結石再発群と再発のない群、2 郡にわけて再発のリスク因子をカイ二乗検定、マンホイットニーU 検定、ロジスティック回帰分析などをもちいて検討していきます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒555-0034 大阪府大阪市西淀川区福町 3 丁目 2 番 39 号

社会医療法人愛仁会千船病院消化器内科 担当医師 那賀川峻

TEL : 06-6471-9541 FAX : 06-6474-0069

E-mail : tnakagawa@chp.aijinkai.or.jp